

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣 良次

2025. 1
No.377

明けましておめでとございます

今年は巳年です。キーワードは「金運」とされ、知恵と変革の運気を呼び込む縁起の良い年とされています。また、脱皮するへびの習性から変化や成長の象徴ともされ、人生の新たなステージへの移行を意味するとも言われています。(G o o g l e 検索より)

変革の年と言われる巳年に、鈴木社長が舵を取る鈴木丸は出航しました。まさに新たなスタートにふさわしいタイミングとなりました。

- ・金運
- ・知恵と変革
- ・変化や成長
- ・人生の新たなステージへの移行

イナテックにとつても、今変えなくていつ変えるんだ、という変化を起こす絶好のチャンスです。

かつて、白物家電やテレビの生産において日本が世界のシェアを牛耳っていた時代がありました。しかし今では、中国や韓国にとつて代わられています。自動車産業もE V (電気自動車) によって中国にシェアを奪われようとしています。

そんな中国と自動車分野で戦うのか、イナテックは大きな岐路に立たされています。イナテックの柱である自動車部品の生産を死守しながら、中国と戦わなくてよい商品群のマーケットに参入し生き残っていくしかないと考えております。

まさしく、へび年のキーワード「知恵と変革」「変化と成長」「人生の新たなステージへの移行」がピッタリなのです。

「金運」を味方にしながら、明るく元気に頑張ります。

苦難

(稲盛和夫『考え方』より)

困難や逆境というものを
ネガティブにとらえ、

悲嘆に暮れるのではなく、
志をより堅固にしてくれる

格好の機会ととらえて
敢然と立ち向かうことが大切です。

イナテックにおいても、常に問題という
「山」に立ち向かわねばなりません。ビジネスの世界では当たり前ですが、「山」に立ち向かうことは自分を振り返る絶好のチャンスであり、志(自分の目指している方向)が良いか否かを確認できるのです。

最近では、宇宙開発部品や国防のための部品等の引き合いも来 있습니다。このことも、本当にイナテックが世の中の幸せのために役立つのか、地球環境のためになるのかをチェックし考えるチャンスです。

我々の技術が世の中の役に立つのなら、その喜びは計り知れません。家電業界のようになりつつある自動車業界から、他業界への参入を目指すうえで、相手に不足はありません。

さあ、皆で力を合わせ、スピードを上げ、ニュービジネスを獲得しようではありませんか。

艱難辛苦を耐えて、人は成長する

(稲盛和夫『考え方』より)

苦勞もせずに人生を過ごしてきたなら、人間性を高めることなどできず、会社をつくってからも、部下の信望や信頼を集めることはできなかったでしょう。子供の頃から苦勞を重ねてきたことによって、少しでも人間が練られ、私という人間がつくられていったから、経営者として務まったのかもしれません。

逆境に置かれながらも、むしろ与えられた逆境を天に感謝するかのような気持ちで健気に生きていく。そのように生きてきた人は、その経験が必ず、後々の素晴らしい幸運につながっていくと私は信じています。

コロナ不況がやってきて、SDGsやカーボンニュートラルの時代になり、EV化の流れが止まらない中、これらに真剣に立ち向かっていけば必ず新しい技術が身に付き、その技術が世の中に役立つのだらうと思います。

これからの日本は、少子高齢化が進み、現在の出生者数から見ても、生産人口が減少することは分かっています。そして海外からの労働者が増え、それによって必ず問題が起きます。現に欧米では、移民問題が喫緊の課題になっており、そうした状況が日本でも起りうるのです。

そんな状況の中、これからの日本はどうすれば良いのか、その答えは『生成AI』を搭載したロボットの活用しかないと思っています。つまり「学習するロボット」「精度の高いロボット」「力強いロボット」「人間と共存できるロボット」等々の活用です。

イナテックとしては、まずロボットを作る「工作機械の部品」や「ロボットの内臓部のギヤ部品」といった分野への挑戦をします。

また、『生成AI』をつくり出す「半導体部品」への挑戦も考えています。そして、必ずやってくるカーボンニュートラルの世界に向けて、水素関連事業の部品も視野に入れながら生き残りをかけて戦います。

イナテックグループの皆さんも、これまで培ってきた自動車部品加工技術を生かし、柔軟な発想でついてきてください。自動車部品を生産する技術はあっても、他業界となればそれなりの難しさは必ずついて回ります。今までの既成概念を「白紙」にして、お客様の要求を真摯に受け止め、新たな分野を開拓していきたいと考えています。

この2025年が、皆様にとつて心身ともに良い年となりますよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

菜根譚後集 一〇八

怨因德彰。故使人德我、不若德怨之兩忘。仇因恩立。故使人知恩、不若恩仇之俱泯。

怨みは、一方に恩恵を施すことにより他方に現われるものである。だから人に恩恵を感じさせようとするよりは、恩恵も怨みも両方とも忘れさせる方がましである。また、仇は、一方に恩恵を施すことにより他方に現われるものである。だから人に恩恵を感じさせようとするよりは、恩恵も仇も両方とも消え去るようになる方がましである。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣良次

2025. 2
No.378

感謝

(稲盛和夫『考え方』より)

どんな境遇にあらうとも、

愚痴や不平不満を漏らさず、

常に生きていること、

いや、生かされていることに感謝する。

そのようにして幸せを感じる心を

養うことによって、

人生を豊かで潤いのある

素晴らしいものに

変えていくことができるのです。

愚痴や不平不満は、結局は自分自身に返
ってきて、自分自身をさらに悪い境遇へと
追いやってしまうものです。ですから、ど
んな境遇にあらうとも、感謝の心というも
のを忘れてはならないと私は思います。

反省

(稲盛和夫『考え方』より)

自分の心の庭を耕し、毎日の反省をする
ことによって、雑草つまり自分の邪よこしまな思
いを取り除き、そこに新たに素晴らしい思
いを植えるようにしていかなければなり
ません。つまり、邪な心を反省し、善よき思
いを心のなかに育てていきます。

我々は、どんな愚痴や不満があつても、生
きていることや周りの人の力によって生かさ
れていることに、感謝することが大切です。
我々は生きていかなければいけない運命に
あります。逃げるのは簡単ですが、この生か
されている人生を、豊かで潤いのある素晴ら
しいものに変えていくべきだと私は考えます。

思いやりのある言葉をかけることや些細
なことでも感謝の気持ちを伝えることで、周
囲の人を幸せに出来ます。

感謝とは、自分自身も相手も優しい気持
ちに出来る薬のようなものだと思います。

何も手入れをしないでそのまま放つて
おけば、人間の心は必ず利己的で強欲なも
のに満ち満ちてしまいます。そこで、「反
省」ということがたいへん大事になってく
るわけです。

反省をすることで自らを戒め、利己的な
思いを少しでも抑えることができれば、人
間誰もが本来持っている美しい心が、自ず
と現れてくるはずです。私もそのような自
分でありたい、少しでも立派な心でありた
いと思ひ、今も毎日、心の手入れに努めて
います。

昨年より、「朝の20分間お掃除」の中で「製造支援お掃除」を実施しています。「製造支援お掃除」では、手でタワシを持って、製造現場の床をピカピカになるよう磨いています。このお掃除は心磨きのお掃除であり、続けることによって『心の雑草を取り除き、そこに新たな素晴らしい思いを植え付ける』ことができるようになると思っています。その上で、自分の心を振り返るという反省が大変重要なのです。

この「製造支援お掃除」も、開始から一年が経とうとしていますが、これからが本番です。雑草は常に生えてきます。その雑草と戦いながら、また上手く付き合いながら、皆さんの心が磨かれ、イナテックの成長と発展に繋がることを願うものです。

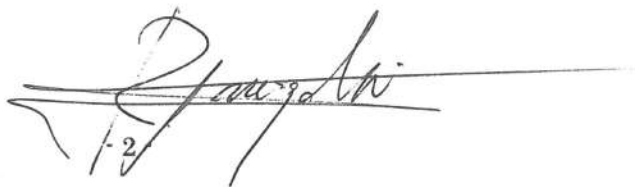
イナテック社員の皆さんも、反省を通して心の手入れをしましょう。よろしく願います。

菜根譚後集

一〇九

老來疾病、都是壯時招的。衰後罪孽、都是盛時作的。故持盈履滿、君子尤兢兢焉。

老後の病氣は、すべて若いときに摂生しなかった報いであり、下り坂になってからの災いは、すべて盛んなときに無理をした罰である。そこで君子たるものは、羽振りのよい満ち足りたときに当たって、特に恐れ慎むことを要する。



2

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣良次

2025. 3
No.379

ありがとうございます、イナテック社員の皆様

去る3月19日、北米トヨタの幹部の方々がイナテックへ来社されました。

・T M N A (トヨタ・ノースアメリカ)

上級副社長 ノーム バフンノ様

SSAリーダー ジェイピー フラハティール様

・T M M I (インディアナ工場)

品管部長 ティム ボウズ様

・T M M W V (ウエストヴァージニア工場)

部長 ボブ ウエルチ様

以上の皆様をはじめ、トヨタ自動車及びアイシンより数名の方々がお越しくださいました。

SSA(品質・性能適正化特別活動)に向けたイナテックの取り組みを学ぶことが目的で、日頃この活動に尽力いただいている社員の皆さんが、トヨタやアイシンの方々へ向けて発表をしてくれました。

ディスカッションの中では、「現場の困りごと解決になっていませんか」という質問をいただき意見交換させていただいたところ、社内の取り組みについて、「イナテックさんの活動は、製造からのボトムアップになっていて大変素晴らしい。それは御社のオペレーターの方々の品質意識向上につながっている」等々の感想をいただきました。

その他にも、「このSSA活動は『品質を下げる』活動になっていませんか」という辛口の厳しい質問がありました。それに対し、工場案内を担当した品質保証課の青木真奈さんは、「部品機能に影響がないか調査し、取り組むべき項目を精査している」と説明し

てくれました。アイシンの調達生準品質部長からは、「すべての事を理解したうえででの発表や案内は、アイシンの男性課長職でもできない」とのコメントをいただきました。

また、ご来社いただいたお礼としてプレゼントしている『イナテックドリンク』を、女性スタッフ数名からお渡ししました。その際、流暢な英語での説明をしたことで、大変喜んでいらっしゃる様子が伺え私も嬉しく思いました。

最後に北米トヨタの副社長からは「イナテックカンパニー、Good Job!」と声を掛けていただき、皆さんの素晴らしいおもてなしを非常に誇らしく感じております。

最後まで好印象を持っていただけたことは、品質保証課のスタッフをはじめ、日頃品質向上に取り組んでいただいている皆様のおかげと、感謝申し上げます。

イナテック社員の皆さん、
「Good Job!」

克己

(稲盛和夫『考え方』より)

少しも威張ったところがなく、常に謙虚でいられる人。

同時に、自分のことは横に置いて、いつでも世のため人のためを考え、行動できる人。

そのような自らの欲望や虚栄を

抑えることができる

克己心の持ち主こそが、

人格者だと私は考えています。

これは稲盛氏の著書『「成功」と「失敗」の法則』にある『人間として正しいかどうか』ににつながるものと思っています。

一、嘘をついてはいけない

二、人に迷惑をかけてはいけない

三、正直であれ

四、欲張つてはならない

五、自分のことばかりを考えてはならない

この分かりやすい表現を参考に、自分自身を振り返ってみて下さい。

試験への対処によって

成功と没落が決まる

(稲盛和夫『考え方』より)

神様は恵まれた条件を与えることによ

って、人がどういふふうに変化していくか

を試しておられるのではないかと思うほ

どです。その試験に対する処し方が良けれ

ば、善い結果が生まれ、悪ければ、悪い結

果が生まれます。

私たちは、常におごらず、謙虚さを忘れ

ず、真面目に、誠実に生きることが大切だと思

います。

しかし、「謙虚さ」とは、消極的で控えめ

とか、お客様の言いなりになるなどの「付度」

とは違うということを忘れないで下さい。

菜根譚後集

一一〇

市私恩、不如扶公議。結新知、不如敦舊好。立榮名、不如種隱德。尚奇節、不如謹庸行。

個人的な私恩を売るよりは、天下の正論に味方した方がよい。新しい友人を求めるよりは、古い友人とのよしみをあたためた方がよい。はでな名を立てるよりは、かげで陰徳を施しておく方がよい。奇特な節義を尊ぶよりは、日常の行ないを慎む方がよい。

イナテック社員の皆様は、本当に真面目な方たちばかりです。しかし、もつと自我(良い面)を出して欲しいと感じる場面があります。自分たちの考えをアピール(披露)することで、「自らの考え方」をチェックできるので

特に、『価値観』が目まぐるしく変化する世の中ですので、本当に正しいことは何か、科学的、哲学的、道徳的に、倫理的思考回路で考える力が必要です。そしてそれを、匿名ではなく堂々と述べ、「自らの考え方」をチェックすることが大切だと考えます。それらを実践すれば、変化の激しい時代でも、イナテックグループは必ず生き残ることが出来るかと確信しております。よろしくお願いいたします。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役会長 稲垣良次

2025. 4
No.380

イナテック 代表取締役会長 就任

今年度、2025年1月1日からイナテック会長に就任しました。まさしく『会長職一年生』です。もう4ヶ月が過ぎようとしています。

かつて私が60才くらいの頃、先輩から言われたことがあります。「良次、お前は邦松社長が何才の時に前（良次）を社長にしたか覚えているか」と問われたことをいつも思い出します。

それは何故かというと、社長の最大の仕事は後継者を育てることにある」と言われ

たのです。私が社長になったのは38才の時、父 邦松社長が60才の時でした。

交代前は、勤務中でも帰宅（同居）してからも、会社のことについて激論を闘わせ、常に親子喧嘩状態の日々でした。そんなある日、私は邦松社長に、「二頭政治はまずい。俺に社長をやらせてください。」と言いました。その時、「やれるものならやってみろ！」という邦松社長の一言で、私の社長業一年生が出発しました。

先輩が伝えたかった事

社長就任後、ある先輩から次のようなことを言われました。

「当時、邦松社長はわざと良次専務を怒らせ発奮させて、自分から『社長をやらせてくれ』と言わせたんだ。それまではじーっと我慢し、良次専務を育てたんだ。」

お前（良次）が、60才までに社長交代が出来なかったら、邦松さんの勝ちだ。それはつまり、経営者としては邦松さんの前に出られず、お前が負けたことになる。」

この言葉を常に思い出している次第です。

社長交代

鈴木俊守社長に交代したのは、私が満72才の時でした。邦松さんが社長職を譲ってくれた60才より12年遅れでした。

私は色々と言いつつ訳を言いました。リーマンショック、コロナ禍、EV化など、様々な理屈をこねては後継者の育成ができなかったことを世の中のせいにしてきました。

社長交代した今は、鈴木社長をどのように盛り上げ、イナテックグループを発展させることができるか考えています。

出しゃばらず

新社長の意見を聞き

時には大局から少し助言をする

新社長に頼まれれば陰ながら応援する

これもある先輩からの言葉ですが、「毎日会社に出社して、30分でもいいから現場の皆さんに声をかけ、『片目をつむって』あげる」とが大切だ」というアドバイスをいただきました。

つまり、言いたいことがあってもできるだけ『片目をつむって』我慢し続けることや、鈴木社長が動きやすくなるようにすることが私の役割ではないかと考えている “会長一年生” です。

責任は私が取る

鈴木社長に伝えたのは、「最後は “代表取締役会長” である私が全責任を負いますから、鈴木社長は身体を大切に頑張つて下さい」ということです。

私は新米会長ですが、これからもイナテックグループ全体をやりがいのある、生きがいのある楽しい会社にして、グループ社員の方々、社員の家族の方々が幸福になるよう頑張ります。

去る4月13日、大阪万博のオープニングに参加し、6時間歩いてパビリオンも見ることができました。若い人にはかありませんが、この身体もまだまだ使えそうです。皆さんを応援すると同時に、私も身体に気をつけながら頑張りますので “会長一年生” をよろしく願っています。

菜根譚後集 一一一

公平正論、不可犯手。一犯則貽羞萬世。權門私賈、不可着脚。一着則點汚終身。

公平無私な意見や道理の正しい議論に対しては、さからってはならない。さからったが最後、恥を末代にまで残す結果となる。また権勢の盛んな屋敷や私利私欲の者どものたまり場に対しては、足をふみ入れてはならない。足をふみ入れたが最後、一生涯の汚れになる。

